



宮方面へのシャトルバス・江ノ電鎌倉駅～長谷駅間・指定5路線バスの一泊乗降り自由フリーきっぷ2枚で車一台につき1,660円
全線(江ノ電鎌倉駅～藤沢駅間)一日乗降り自由フリーきっぷ2枚で車一台につき1,800円
全線(江ノ電鎌倉駅～藤沢駅間)一日乗降り自由フリーきっぷ2枚で車一台につき1,800円
間+指定5路線バスが一日乗降り自由で大人570円・小人290円

鎌倉市ふる
ご協力お願

鎌倉散策・見どころ

「江ノ電・極楽寺駅」

関東の駅百選の一つで、趣のある木造の駅舎。しばしば TV ドラマ（「最後から二番目の恋」＜2012 年＞など）や映画の舞台となっている。

「極楽寺」

北条重時（義時の三男）が奈良から忍性（にんしょう）を招き 1259 年に創建した寺。創建当時の寺域は広大で七堂伽藍を多くの塔頭が取り囲み、施薬院、悲田院などの病院施設もあった。その後火災などでほとんどの建物が消滅し、現在は吉祥院の建物が極楽寺の本堂として残っているのみ。

「極楽寺坂切通」

鎌倉七口と呼ばれる切通の一つ。13 世紀後半に開かれたと思われ、京都方面から東海道を經由して鎌倉に入る重要な入口である。新田義貞の鎌倉攻めの際に激戦地となった。江戸時代以降拡幅や掘り下げなどが行われ、開削当時の面影はないが、元の切通としての路面の高さは、切通に並行してある成就院の門に至る道とほぼ同じであったと推測されている。

「成就院」（じょうじゅいん）

北条泰時（義時の長男）が 1219 年創建したと伝えられる寺で、最近縁結びの寺として若い人の参拝も多い。境内から望む由比ガ浜と鎌倉市街は一見の価値あり。

「御霊神社」（ごりょうじんじゃ）

源義家の家臣・鎌倉権五郎景政を祀る神社で、権五郎様と俗称される。神社の門前を江ノ電が横切っており撮影スポットとして知られる。

「長谷寺」

伝説によれば 727 年に一本のクスノキから二体の十一面観音を造り、一体を奈良長谷寺に、もう一体を海に流したところ 736 年に今の横須賀市の洋上に浮かび上がり、鎌倉に遷され鎌倉長谷寺が創建されたという。但し、奈良の長谷寺は真言宗、鎌倉の長谷寺は浄土宗系で、両寺に宗派としてのつながりはない。

実際の創建時期は不明であるが、同寺の梵鐘は 1264 年の銘を持ち、「長谷寺」の寺号が確認できる最古の資料。本尊「十一面観音菩薩像」は高さ 9.2m の木造。

アジサイをはじめとする花の多彩さと眺望でも有名。

「甘縄神明神社」（あまなわしんめいじんじゃ）

鎌倉で最も古い神社と言われる。源頼義が相模守として下向のおり、当社に子授かりを祈願、そして子・義家がこの甘縄の地で生まれたという。源頼朝、北条政子、実朝など源氏将軍家の崇敬が篤かった。

「鎌倉文学館」

鎌倉三大洋館の一つ。旧加賀藩主、前田家 16 代利為（としなり）により昭和 11 年に建てられた別邸を鎌倉市が寄贈を受け、昭和 60 年以来、文学館として活用。建物は国の登録有形文化財で、広大な庭園では 5 月中旬にはバラが見頃を迎える。

「和田塚」

1213 年和田義盛は北条義時の挑発を受けて拳兵に追い込まれ、幕府軍を相手に鎌倉で戦うが敗死し、和田一族も滅亡した（和田合戦）。そしてここに葬られたと伝わる。